

わかしお薬塾プロジェクト
の取り組み

山武郡市薬剤師会
灰吹屋鈴木薬局
鈴木俊宏

はじめに

わかしお薬塾研修会(薬塾)は、昨年3月3日に第1回目を開始し、毎週木曜日19:30からウェビナー形式で開催を続けて、今年の3月2日で第45回を迎えた。

薬塾は、糖尿病性腎症の重症化による透析導入を阻止する取り組みの一つとして、主治医と連携してかかりつけ薬剤師が実施する減塩指導をベースとした服薬管理指導のスキルアップを目的としている。

薬塾に参加する薬剤師が、減塩指導のツールを作成すると共に、患者指導に精通している保健師、栄養士等のコメンテータがオンラインで参加するロールプレイングを通じて指導スキルの向上を目指している。

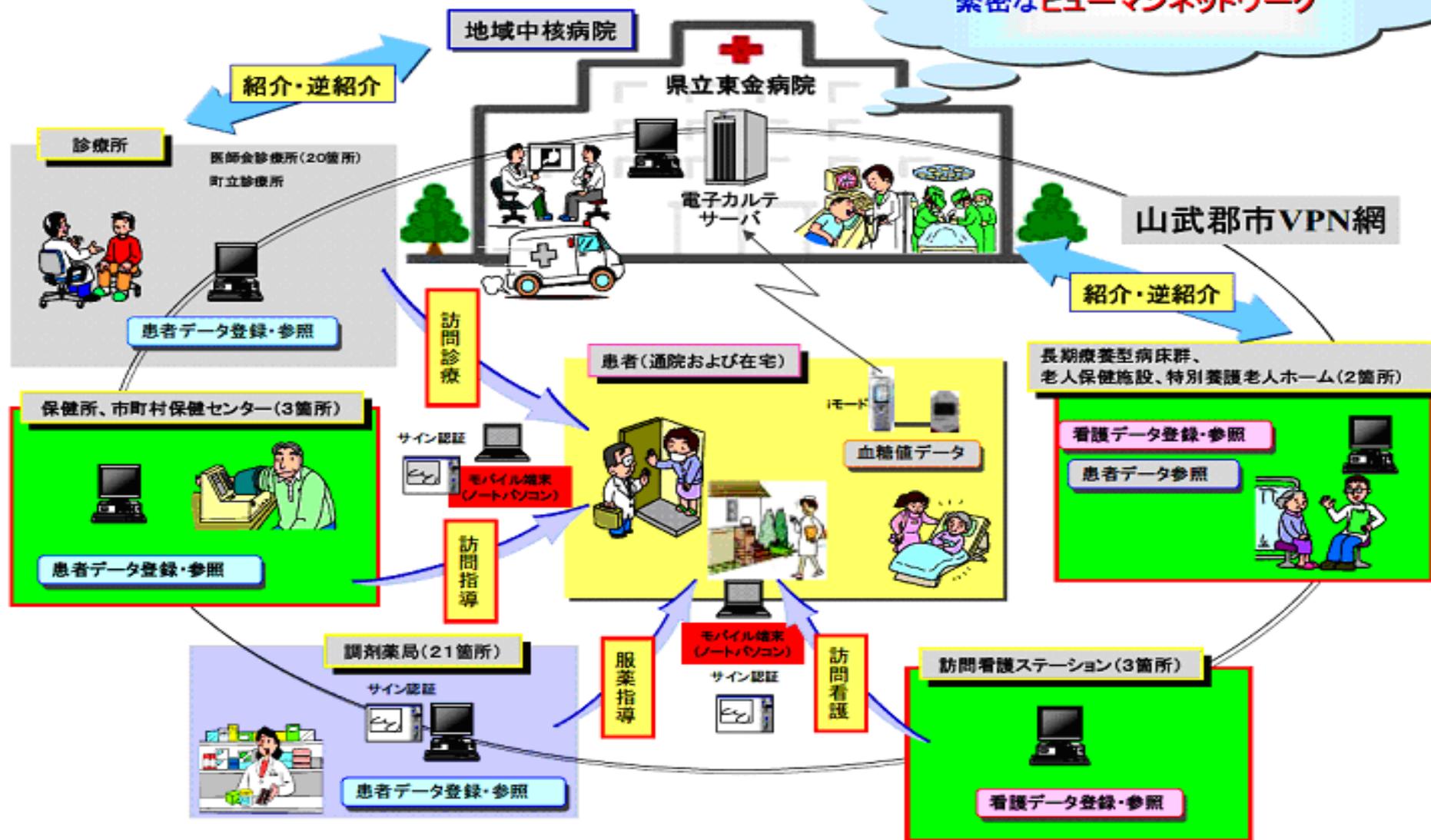
また、服薬指導の結果をレーシングレポートとして病院にフィードバックし、その蓄積により地域連携薬局の認定取得を視野に入れている。

地域の病院と患者と薬局が三位一体となって重症化予防を実践していく事がこのプロジェクトのキモである。

わかしお薬塾のルーツはわかしお医療ネットワーク！！

わかしお医療ネットワーク Ver 2.0

定期的研修会に裏打ちされた
緊密なヒューマンネットワーク



わかしお医療ネットワーク

2000年に経済産業省補正予算公募事業である「電子カルテを中心とした地域医療情報化」に応募し採択され、2001年に千葉県立東金病院を中心に診療所・保険調剤薬局・訪問看護ステーション・保健センター・介護施設等の施設を結び、立ち上げられた。

同ネットワークは、ITを活用した地域医療連携の成功事例として注目され、その成功要因として、病院と地域の診療所とのヒューマンネットワークの形成と、診療所医師への技術移転に尽力したことがあげられる。

また、日本で初めて予防から在宅医療までをITソリューションで結び、これからの地域医療（地域包括ケア）の先駆モデルとしても注目され、多くのメディアでも取り上げられてきた。

地域の医薬連携の肝は、人材育成（研修会の充実）と お互い顔の見える関係性の構築！！

東金病院主催の地域の診療所医師や調剤薬局薬剤師を対象とした定期的研修会を通して地域の診療所医師・調剤薬局薬剤師への技術移転が進み、ヒューマンネットワークづくりがわかしお医療ネットワークの実現の下地となった。

情報&知識の共有となる定期的な研修会の開催は、技術移転に留まらず、お互いの顔が見える関係性が深まり、(チームワーク的な)一体感が生まれるといった相乗効果が期待できる。



山武SDMI研究会の一コマ

山武郡市薬剤師会

地域包括ケアを支える地域薬局プロジェクト (わかしお薬塾プロジェクト)

連続研修会 第42回:実践編(37)

令和5年2月2日



今日の研修会の内容(PM7:30開始)

イントロ:医療DXと薬局薬剤師(20): 電子処方箋最新動向

5分

第一部:服薬管理指導(脱水予防・減塩指導)ロールプレイ(10分×1人)

40分

研修目標:薬剤師による対人指導:

はじめに患者紹介とロールプレイのポイント解説:平井

①ロールプレイヤー:片貝薬局

②コメンテーターの皆さん

③患者役:平井

④ミニカンファ『長期療養中の妻がコロナ禍の中、入所先で逝去。対面したのは霊安室。その結果、落ち込み食事がとれなくなり飲酒過多で栄養状態悪化した3期糖尿病性腎症の患者さんの支援について』

第二部:連続講座

10分

実践編(32)服薬管理指導(減塩指導等)実践のポイント:

治療薬の効果最大化とリスクの最小化

シリーズ:フリースタイルリブレを活用した服薬管理指導:

波にのまれないリブレデータの読み方入門(5)責任インスリンとCGM

第三部:各担当からの報告・連絡

20分

1)医療DX入門編:薬局店頭でのフリースタイルリブレの活用(第15回)

事例紹介(6):ウェルシア薬局東金押堀店:CSII使用中の1型糖尿病のCGM解析結果

2)循環器病センターと地域薬局の服薬管理指導進捗状況 平井

3)服薬管理指導データの『わかしおシート』入力について

4)ロールプレイの積み重ねから「薬剤師に必要な生活指導スキル」を見える化してみよう

電子処方箋スターターキットの導入



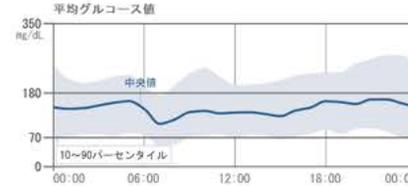
スナップショット

2022年12月21日 - 2023年1月17日 (28日)

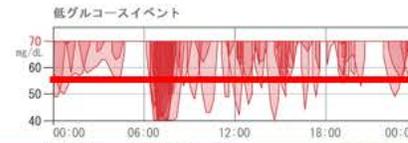
グルコース

推定A1c 6.7% または 50 mmol/mol

平均グルコース値 146 mg/dL
目標より高い割合 27 %
目標範囲内 64 %
目標より低い割合 9 %



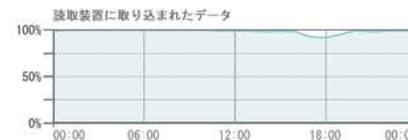
低グルコースイベント 53
平均持続時間 82 分



センサーの使用頻度

夜間遷延性無自覚低血糖 54mg/dl未満が120分持続

読取装置に取り込まれたデータ 100 %
日別スキャン回数 11



わかしおネットワーク～わかしお薬塾プロジェクトから見えてきたこと
地域で包括的医療福祉ネットワークを構築するにはどうする？

- 技術移転・実践支援をめざす定期的研修階の開催が前提である。
- 組織的に役割を分業し、各リーダーを配置してシステムチックに専門性・専任性を持たせると共に各人の負担を軽減すること。
- 継続的推進力となる情熱とビジョンが必須であること。
- マンネリ化を打破する時流にマッチしたアップデート情報を、必ず盛り込むこと。
- 「かかりつけ薬剤師」の認定資格を継続するため、薬剤師研修センターの単位取得が可能な研修会とすること。